

櫛

小川未明

青空文庫

町から少し離^{はなれ}て家根^{やね}が 処^{ところ}々^{どころ}に見える村だ。空は暗く曇^{くも}っていた。お島^{しま}という病婦^{びやうふ}が織^{はた}っている機^{はた}の音が聞える。その家の前に鮮^{あざ}やかな紫陽花^{あじさい}が咲^さいていて、小さな低い窓^{まど}が見える。途^{みち}の上に、二人の女房^{かみさん}が立^たって話^{はな}をしている。

「この頃は悪い風邪^{かぜ}が流行^{はや}りますそうですよ。」

「そうだそうですよ、骨^{ほね}の節々^{ふし}が痛^{いた}むんですって。」

陰^{かげ}気^きな、力^{ちから}なげな機^{はた}の音がギーシャン、コトン！ と聞^きえて来る。全くこの時風^{ときかぜ}が死^しんだ。また降り出しそうな空^{そら}には、雲^{くも}脚^{あし}が乱^{みだ}れていた。

「お島^{しま}さんの顔^{かほ}色^{いろ}は善^よくありませんね。」と一人の女房^{かみさん}が眉^{まゆ}を顰^{ひそ}めた。

「産^うまれるのかも知^しれませぬよ。」と一人がいう。

「そうかも知^しれない、ああ顔^{かほ}色^{いろ}が悪^{わる}くちや……。」

「吐^も瀉^じほいといつていたから……。」

二人の女^にが話^{はな}をしてる処^{ところ}へ、頭^{かみ}髪^{のけ}が沢^{たく}山^{さん}で、重^{おも}々^々しそうに鍋^{なべ}でも被^{かぶ}っているように見える、目尻^{めじり}の垂^たれ下^{くだ}った、鯨^{なます}の目附^{めつき}に似^にている神^{しん}經^{けい}質^{しつ}じみた脊^{せき}の低^ひい、紺^{こん}ぼい木綿^{きわた}衣^い物^{もの}を着^きた女^にが、横^{よこ}合^あから出^でて来^きた。二人はこの女^にを見^みるとぎよつとして口^{くち}を噤^{つぶ}んだ。

「まった降りだ。」と鍋を被ったような女が、重たらしい調子でいう。その声がまたとなく陰気だ。

「悪いお天気で困ります。」と一人の女房がいった。

何の鳥とも知らず黒い小鳥が啼いて、二三羽頭の上を廻っていた。傍の垣根の竹に蛞蝓が銀色の縷を引いて止まっている。

「お洗濯が出来なくて。」と一人の女房がいつて、我家の方へ帰りかけた。

「私もまだすることがあるのですよ。」と一人の女房も下駄の齒をぎしりと砂地に喰い込ませて後を向いた。

鍋被の女だけ陰気な顔で、何処を睨むというでなく立っていた。二人の女房は各自に家へ入って、その場にはただ一人鍋被の女だけ取り残された。この黒衣の女は暫らく石の如く動かなかつた。何時しかお島の織っていた機の音が止んだ。

一段空が暗くなつた。この時、今年十二歳になるお島の子供が、町から帰って来た。手に薬屋から買って来た、キナエンの薬袋を持って家へ入った。——風が少し出て来た。間もなく、お島の家の低い窓から真青な烟が上り始めた。この時鍋被の女は重たそうな歩み付きで踵を返して、自分の家に入りかけた。門口の柱には蛇の貝殻がかかっている、それに

「ささらさんばち宿」と書いてある。また白紙の札に妙な梵字のような字で呪文が書いて貼
 である。鍋被の女には歯というものがないようだ。何れも虫が食ってしまったらしい。口
 中 は暗い洞である。女は立止って、家の前にある一本のただ白く咲いた柿の木を見
 上げていた。すると其処へお島の男の児が駆けて来た。

「これ、おばさんのでなくて、往來に落ちていたよ。」と行って、一枚の黄楊の櫛を鍋被
 の女の手に渡すと、後にも振向かずに一目散に逃げるように駆け出した。

「えッ。」と老女は鯰のような目を見張って、子供の駆けて行く後姿を睨んだ。

「櫛！ 櫛！」と行って唾を吐くと、暗い口を開けて、眼が異様に光った。手早にその黄
 櫛を西隣の家の方へ投げ捨てて、

「あくむちやく……うい、うい。」と同じい呪文を三度唱えて、また唾を西に向けてペッ
 ペツと吐いた。

「お島の阿魔め、悪戯をさせやがって、覚えていろ。」

といって、黒鍋を被つたような頭を振って、戸を閉めて入ってしまった。暗い空に、湿つ
 ぽい風が吹いて、彼方であがあと鳥が啼いた。

青空文庫情報

底本：「文豪怪談傑作選 小川未明集 幽霊船」ちくま文庫、筑摩書房

2008（平成20）年8月10日第1刷発行

2010（平成22）年5月25日第2刷発行

底本の親本：「定本 小川未明小説全集1 小説集※【#ローマ数字1、1-13-21】」講談社

1979（昭和54）年4月6日第1刷発行

初出：「文章世界」

1908（明治41）年7月号

入力：門田裕志

校正：坂本真一

2015年9月1日作成

2016年4月3日修正

青空文庫作成ファイル：

このファイルは、インターネットの図書館、青空文庫 (<http://www.aozora.gr.jp/>) で作られました。入力、校正、制作にあたったのは、ボランティアの皆さんです。

櫛

小川未明

2020年 7月18日 初版

奥 付

発行 青空文庫

URL <http://www.aozora.gr.jp/>

E-Mail info@aozora.gr.jp

作成 青空ヘルパー 赤鬼@BFSU

URL <http://aozora.xisang.top/>

BiliBili <https://space.bilibili.com/10060483>

Special Thanks

青空文庫 威沙

青空文庫を全デバイスで楽しめる青空ヘルパー <http://aohelp.club/>
※この本の作成には文庫本作成ツール『威沙』を使用しています。
<http://tokimi.sylphid.jp/>